

ガイドライン2022年版に掲載(CQ1)				介入法(詳細)							ガイドライン臨床疑問の推奨の判断に重要なアウトカム								
年	ガイドライン2022年版掲載8本(1:掲載/0:未掲載)	QPL介入強度(1:患者介入/2:+医師フィードバック/3:複合介入)	Cites	調査実施国・地域	著者・ジャーナル	デザイン	対象	質問促進の介入法	対照	QPLの配布方法	QPL配布以外の介入	医療者へのQPLの説明	QPLの有用性	診療への満足度	生活の質 QOL	診療中の質問数	精神的苦痛	診療時間	
2023	ガイドライン未掲載(更新)	1	Arthur J, Pawate V, Lu Z, et al. Helpfulness	米国	Arthur, JAMA Netw Open 2023	ランダム化比較試験	進行がん患者130名	QPL	一般的な情報ちらし	割付時に配布する	QPL使用を奨励する	医師に、資料使用と質問の奨励について説明する	有意差なし	有意差なし	評価していない	有意差なし	不安に有意差なし	有意差なし	
2023	ガイドライン未掲載(更新)	1	Egely S, Senft N, Kim S et al. Addressing patient needs	米国	Egely, Cancer Med 2023	ランダム化比較試験	前立腺がん男性(黒人及び白人)患者44名	QPL(臨床試験用)	通常診療	診察前に配布する	QPL有用性を説明し、診察時の質問を奨励する	なし	評価していない	評価していない	評価していない	評価していない	評価していない	評価していない	
2022	ガイドライン未掲載(更新)	1	Tsai PS, Wang CC, Lan YH et al. Effectiveness	台湾	Tsai, Patient Educ Couns 2022	ランダム化比較試験	乳がん患者240名	QPL(乳がん用)	通常診療(一般的な教材)	割付後、初回診察までに配布する	医師に尋ねたい質問を決める手伝い、患者のSDM参加を促す	乳がん外科医3名は、治療ガイドラインに関するコンセンサスを図る	評価していない	評価していない	評価していない	評価していない	不安に有意差なし	評価していない	
2021	ガイドライン未掲載(更新)	1	Buizza C, Cela H, Ferrari C et al. Does	イタリア	Buizza, J Psychosoc Oncol 2021	ランダム化比較試験	早期乳がん患者324名	QPL+情報ちらし+質問促進フォーム/腫瘍医と話し合う	質問促進フォームで質問をリストアップする	診察前に配布する	なし	なし	評価していない	有意差なし(診察中の意思決定に関する満足度)	評価していない	対照群で質問数が有意に多い(15.9 vs 13.4)	有意差なし	有意差なし	
2021	ガイドライン未掲載(更新)	2	Bouleuc C, Savignoni A, Chevrier M et al. A Question	フランス	Bouleuc, J Pain Symptom Manage 2021	ランダム化比較試験	進行がん患者142名	QPL+医師のマニュアル化されたセルフの提示	通常診療(希望する質問をできるように促す)	割付時に配布する	QPL使用方法を説明する	医師に、QPL使用の承認について説明する	介入群でQPLは有用であったと報告	有意差なし	有意差なし	有意差なし	介入群が有意に多い	不安、抑うつに有意差なし	有意差なし
2021	ガイドライン未掲載(更新)	2	Rogers SN, Allmark C, Bekiroglu F et al.	英国	Rogers, Eur Arch Otorhinolaryngol 2021	ランダム化比較試験	治療相談: Multidisciplinary Team (MDT) Meetingsにかかわる患者	QPL+医師へのフィードバック	通常診療	診察前に配布する	診察時、医師にQPL選択と患者の症状評価をフィードバックする	なし	評価していない	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
2020	ガイドライン未掲載(更新)	1	Zetzel T, Mann D, Gruner S et al.	ドイツ	Zetzel, Support Care Cancer 2020	ランダム化比較試験	放射線医の初回診察を受ける313名	QPL	通常診療	初回診察前に配布する	なし	なし	介入群で(一部~非常に)有用と回答81%	評価していない	評価していない	評価していない	評価していない	評価していない	
2020	ガイドライン未掲載(更新)	3	Henselmans I, van Laarhoven HWM, van Maaseghelm	オランダ	Henselmans, Oncologist 2020	ランダム化比較試験	進行がん患者194名+腫瘍内科医	QPL+医師SDM訓練	QPLを使用しない+医師は受動的に対応する	記述なし	価値観明確化のための資料を使用して、腫瘍医と価値観を共有する	医師は、コーチングセッションの訓練+協働意思決定に関する資料を受け取る	介入群で有用性評価は中程度(3.6点/5)	有意差なし	有意差なし	評価していない	評価していない	診察が5分延長(介入医師+非介入患者群)	
2017	ガイドライン未掲載(更新)	3	Epstein, R. M., et al. (2017). "Effect of	米国	Epstein, JAMA Oncol 2017	ランダム化比較試験	腫瘍専門医38名及び進行非血液がん成人患者265名	QPL+医師CST+患者コーチング	通常診療	記述なし	対象と介護者向けQPLコーチングセッション(1時間)、電話フォローアップ(3回まで)	腫瘍専門医は、標準化された患者インストラクターを用いた個別のコミュニケーショントレーニングを受ける	評価していない	評価していない	有意差なし	評価していない	有意差なし		
2017	ガイドライン未掲載(更新)	3	Walczak, A., et al. (2017). "Encouragi	豪州	Walczak, Int J Nurs Stud 2017	ランダム化比較試験	進行難治性がん患者110名	QPL(難治がん用)+看護師によるコミュニケーション支援	通常診療	コミュニケーション支援プログラムの開始時に看護師がQPLを紹介する	看護師との対面ミーティング	医師に、QPL使用と質問の支持について説明する	評価していない	評価していない	有意差なし	有意差なし	評価していない	有意差なし	
2011	ガイドライン未掲載(更新)	3	van Weert, J. C., et al. (2011). "Effects of	オランダ	van Weert, Crit Rev Oncol Hematol 2011	ランダム化比較試験	高齢がん患者210名	QPL+コーチング	通常診療	診察前に配布する	看護師は、個別の面接法フィードバック+コミュニケーションスキルトレーニングを受ける	看護師に、QPLの使用法について説明する	評価していない	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
2001	ガイドライン未掲載(更新)	2	Brown, R. F., et al. (2001). "Promoting	豪州	Brown, Br J Cancer 2001	ランダム化比較試験	がん患者318名	QPL+医師は積極的にQPLに対応する	QPLを使用しない+医師は受動的に対応する	初回診察前に配布する	なし	医師積極的対応群は、マニュアルに従って積極的に取り組み、質問の重要性を支持し、質問に全力で答え患者を安心させる	評価していない	有意差なし	評価していない	有意差なし	QPLのみ群で不安増加(vs QPL+積極的医師、患者ケア)	QPL+積極的医師群で短縮28.5min(vs QPLのみvs 通常ケア)	
1997	ガイドライン未掲載(更新)	1	Davison, B. J. and L. F. Degner (1997). "Empower	カナダ	Davison, Cancer Nurs 1997	ランダム化比較試験	前立腺がん患者60名	QPLと情報冊子を使用	前立腺がんに関する情報冊子	診察前に配布する	情報冊子を用いた情報収集と診察録音を推奨する	なし	評価していない	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
2017	ガイドライン2022年版に掲載済	1	Tattersall, M. H., et al. (2017). "Parallel	豪州	Tattersall, BMJ Open 2017	ランダム化比較試験	臨床試験参加者88名	QPL(臨床試験用)	QPLを使わない話し合い(医師やリサーチナース)	割付時に配布する	QPL使用を奨励する	医師に、QPLの内容の承認、使用の推奨について説明する	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	不安に有意差なし	有意差なし
2012	ガイドライン2022年版に掲載済	1	Shirai, Y., et al. (2012). "Patients'	日本	Shirai, Psychooncology 2012	ランダム化比較試験	進行がん患者63名	QPL	病院や治療の情報、質問を記入できる冊子	割付時に配布する	なし	なし	介入群が有意に高い	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
2012	ガイドライン2022年版に掲載済	1	Smets, E. M., et al. (2012). "Addressing	オランダ	Smets, Dis Esophagus 2012	ランダム化比較試験	食道がん患者30名	QPL	通常診療	診察前に配布する	QPL使用方法を説明する	なし	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
2007	ガイドライン2022年版に掲載済	1	Clayton, J. M., et al. (2007). "Randomiz	豪州	Clayton, J Clin Oncol 2007	ランダム化比較試験	進行がん患者174名、介護者123名	QPL(EOL用)	通常診療	診察前に配布する	なし	医師に、QPL使用の積極的な支持について説明する	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	不安に有意差なし	有意差なし	
2004	ガイドライン2022年版に掲載済	1	Butow, P., et al. (2004). "Cancer	豪州	Butow, J Clin Oncol 2004	ランダム化比較試験	がん患者164名	QPL+意思決定支援冊子(意思決定:患者の権利と責任)	クリニック紹介の冊子	診察の2日前に配布する	意思決定:患者の権利と責任が記された冊子を配布する	なし	家族にとっての有用性は介入群が有意に多い	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
2003	ガイドライン2022年版に掲載済	1	Bruera, E., et al. (2003). "Breast	米国	Bruera, J Pain Symptom Manage 2003	ランダム化比較試験	乳がん患者60名	QPL(乳がん用)	乳がん用の一般的な情報ちらし	割付時に配布する	なし	なし	介入群が有意に高い	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
1999	ガイドライン2022年版に掲載済	3	Brown, R., et al. (1999). "Promoting	豪州	Brown, Br J Cancer 1999	ランダム化比較試験	がん患者60名	(介入1)QPL(介入2)QPL+コーチング	通常診療	割付時に配布する	介入2は心理学研究者による対話型コーチングセッション	医師に、QPL内容の確認、マニュアルに沿った回答について説明する	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	
1994	ガイドライン2022年版に掲載済	1	Butow, P. N., et al. (1994). "Patient	豪州	Butow, Ann Oncol 1994	ランダム化比較試験	がん患者142名	QPL	地域サービスの冊子	診察前に配布する	QPL使用を奨励する	なし	評価していない	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	有意差なし	

注釈:CST, Communication Skill Training (コミュニケーション技術トレーニング); EOL, End of Life; QPL, Question Prompt List;